



足立区

足立区長定例記者会見次第

1 日 時 平成21年1月27日(火) 午後2時から

2 場 所 足立区役所 8階 区長特別応接室

3 案 件

(1) 平成21年度 当初予算案発表

重点プロジェクト推進戦略は未来への道標 (みちしるべ)
～子どもに未来を！暮らしに安心を！まちに活力を！～

(2) 足立区緊急経済対策 (平成20年11月～)

【危機を乗り越え、未来に踏み出そう！】

(3) 質 疑

【担当】 政策経営部副参事(報道担当)

03(3880)5816



足立区

定例記者会見資料
平成21年1月27日
政策経営部副参事(報道担当)
中村副参事(3880)5324

重点プロジェクト推進戦略は未来への道標(みちしるべ) ～子どもに未来を！くらしに安心を！まちに活力を！～ 平成21年度 予算編成のあらまし(抜粋版)

足立区は、新線開業や大学進出など社会的な資源の集積が進み、新たな発展の可能性の時を迎えていると認識しております。この千載一遇のチャンスを最大限に活かしきらなければ、次なる飛躍はありえません。そこで21年度はその起点の年と位置づけ、画一的に緊縮財政で臨むのではなく、的確な緊急経済対策を打ち出しつつ、メリハリをきかせた資源配分を心がけ、持てる力を最大限に引き出し、有効活用することを財政運営の基本方針といたしました。

そこで、3年後を見据えて特に優先的に実施すべき施策を抽出した重点プロジェクトを確実に推進することに力点をおいて、行財政資源を配分しました。

子ども =たくましく生き抜く力を育む

- ◎ 子どもの心身の健全な発達を支える
- ◎ 安心して学び、遊べる環境をつくる
- ◎ 多様な子育てを支援する

■学力向上のための講師配置事業〔P14〕

* 副担任講師

21年度から新たに小学校1年生の担任補助を行う「副担任講師」は、35人を超える学級が生じた場合、一定の基準で学年に対して配置します。35人を超える学級数が1学級又は2学級の場合は、小学校1年生に1人の副担任、35人を超える学級数が3学級以上の場合は、小学校1年生に2人の副担任を配置し、担任と共に学習指導や生活指導などを行い、生活習慣を定着させていきます。

■学力向上対策推進事業〔P15〕

* (仮称)あだちキッズアカデミー&(仮称)あだちサマースクール

(仮称)あだちキッズアカデミーでは、小学4年生から6年生を対象に、四則計算の基礎を習得させ、(仮称)あだちサマースクールでは、夏休みを活用し、国語、算数の基礎的な補助学習を行います。

■学童保育事業〔P 1 8〕

* 民間学童運営費補助施設の拡大 & 緊急待機児童解消事業の実施

待機児童解消必要地区への民間学童保育室の設置に伴い、運営費の補助を増やします。また、学童保育待機となった児童に対して、夏休み等長期の休業中、特例的に児童館を利用できるようにします。

■保育サービス事業（待機児童対策）〔P 2 3〕

待機児童の解消に向けて、認証保育所の誘致や認証保育所等の利用者に対する助成額の増額、家庭福祉員（保育ママ）の保育料の値下げなど、保育サービスを一層充実します。

* 認証保育所運営経費及び開設準備経費助成事業

A型認証保育所2園の開所、保育室から認証保育所へ3園の移行を目指します。

* 認証保育所等利用者助成事業

認証保育所等の利用促進を図るため、乳児（0～2歳）の保育料助成を増額します。

* 家庭福祉員保育経費助成事業

家庭福祉員の利用者の保育料を値下げするとともに、家庭福祉員の処遇改善を図ります。

* 公立保育園の民営化事業

公立保育園の民営化にあたり、準備に必要な経費を補助し民営化を円滑に進めます。

くらし = 健やかな安心のくらしを支える

- ◎ 健康・長寿社会を実現する
- ◎ 環境に優しいくらしを支える
- ◎ 美しいまちづくりを進め治安を守る

■認知症高齢者支援ネットワーク事業〔P 2 5〕

認知症高齢者の方が住みなれた地域で安心して生活できるように、医療と介護が連携し、継続して支えていきます。地域包括支援センター4箇所に認知症連携担当者を置き、専門的相談や専門医療機関の紹介等を行います。

■地球温暖化対策の推進（低炭素社会の実現）〔P 2 7〕

地球温暖化対策では、区民、企業・団体、行政が協働して、環境保全に取り組んでいくことが必要です。平成19年度に策定した、第二次環境基本計画で掲げた「平成24年までにCO₂排出削減10%」の数値目標達成に向けて、さまざまな施策を実施し、低炭素社会の実現を図っていきます。

* 太陽エネルギー利用促進事業

住宅用太陽光発電システムの設置に対する助成費増額、及び新たに住宅用太陽熱ソーラシステム・温水器設置の助成を行うことで、CO₂排出削減を図ります。

*** 足立区環境基金助成事業**

高環境の実現に向けた取り組みを進めるため、産学連携枠を新たに設けました。

*** 温暖化防止Gメン派遣事業**

区内の中小事業所を対象とし、直接訪問して事業者のCO₂排出抑制及びごみ減量をはじめとした助言を行い、継続的な環境負荷軽減対策の普及啓発を行います。

*** あっちっちこども観測隊**

天気の変化と温度について学び始める小学校5年生を対象に、夏休みに定期的な温度測定を実施することで、規則正しい生活リズムと温暖化問題を学ぶきっかけとします。

■公園等の新設・改良事業〔P 3 1〕

*** 荒川左岸桜づつみモデル事業**

平成20年から平成32年にかけて都市農業公園から西新井橋の全長約5kmにわたって、五色桜の由来による97品種のうち現存するものを用いて約1,700本(目標値)の植樹を行います。当面は、扇大橋から江北橋の約900mの植栽整備を行っていく予定です。



■道路の新設・改良事業〔P 4 1〕

*** 江北桜並木事業**

江北センター(江北三丁目)付近、堀之内公園(堀之内二丁目)付近、眼鏡橋(江北三丁目)付近の3箇所をスポット的に桜並木緑道として整備します。

■公共施設の緑化推進事業・(仮称)緑の基金〔P 3 2〕

*** (仮称)緑の基金の創設**

区の緑の保護及び回復を図り、緑化を推進するために基金を設置します。

まちづくり = 安全で活力のあるまちをつくる

- ◎ 産学公連携により新しい文化・産業を創造する
- ◎ 地域経済の活性化を進める
- ◎ 都市更新・都市再生により機能的で災害にも強いまちをつくる

■大学連携・協働・研究委託事業〔P36〕

千住地域には、すでに開学している放送大学・東京藝術大学・東京未来大学に加え、平成22年には帝京科学大学、24年には東京電機大学が開学します。北千住に集結する各大学の特色を生かした連携を核に、足立区の目指す文化産業・芸術新都心構想の実現を図ります。

* 産業誘致・経済交流戦略

地域経済の活性化 <東京電機大学との連携(予定)>

* 文化交流戦略

区民の文化芸術活動の振興 <東京藝術大学との連携>

* 教育力向上戦略

多様な教育・子育ての支援 <東京未来大学との連携>

* 創造都市戦略

イメージアップに結びつくまちづくり <帝京科学大学との連携>

■産学公連携促進事業〔P37〕

産学公連携に関心のある意欲的企業や大学研究室の情報の基礎調査委託及び検討部会を設置します。

経営改革 = 信頼と協働の区政を実現する

■協働推進事業・(仮称)協働パートナー基金〔P45〕

* (仮称)協働パートナー基金(平成21年度創設)

個人や法人の寄付によって、区民、NPO、企業、区とのパートナーシップを育み、区の協働事業と公益活動を支えます。

その他

■裁判員制度家族支援事業〔P48〕

介護の必要な高齢者や障がい者、あるいは一時保育の必要なお子さんのいる方が、安心して裁判員として参加できるように支援します。

* 在宅要介護者家族支援事業

対象者：同居家族が裁判員に選出されている介護保険の要介護認定を受けている方。

*** 在宅障がい者保護事業**

対象者：同居家族が裁判員に選出されている身体障害者手帳または愛の手帳を所持、もしくは自立支援給付の決定を受けていて、介護が必要な方。

*** 学童保育室での一時保育**

対象者：保護者が裁判員に選出された一時保育を必要とする小学校1～3年生

*** 乳幼児一時保育**

対象者：保護者が裁判員に選出された一時保育を必要とする乳幼児

*** 精神障がい者の家族支援**

対象者：同居家族が裁判員に選出されている精神障がいにより介護が必要な方（原則、精神障害者保健福祉手帳を所持している方）

■新田小中一貫校建設事業〔P51〕

新田小中一貫校は、新田地区のまちづくりに伴う児童・生徒数の増加や既存校舎の老朽化への対応を図ると同時に、児童・生徒の「たくましく生き抜く力を 育む」ことを目指し、小中一貫教育を推進するために建設するものです。

■小・中学校耐震補強事業〔P54〕

震災時の児童・生徒の安全確保と避難所としての機能保持のため、小・中学校の耐震診断・設計及び耐震補強工事を実施します。



【新田小中一貫校完成模型】